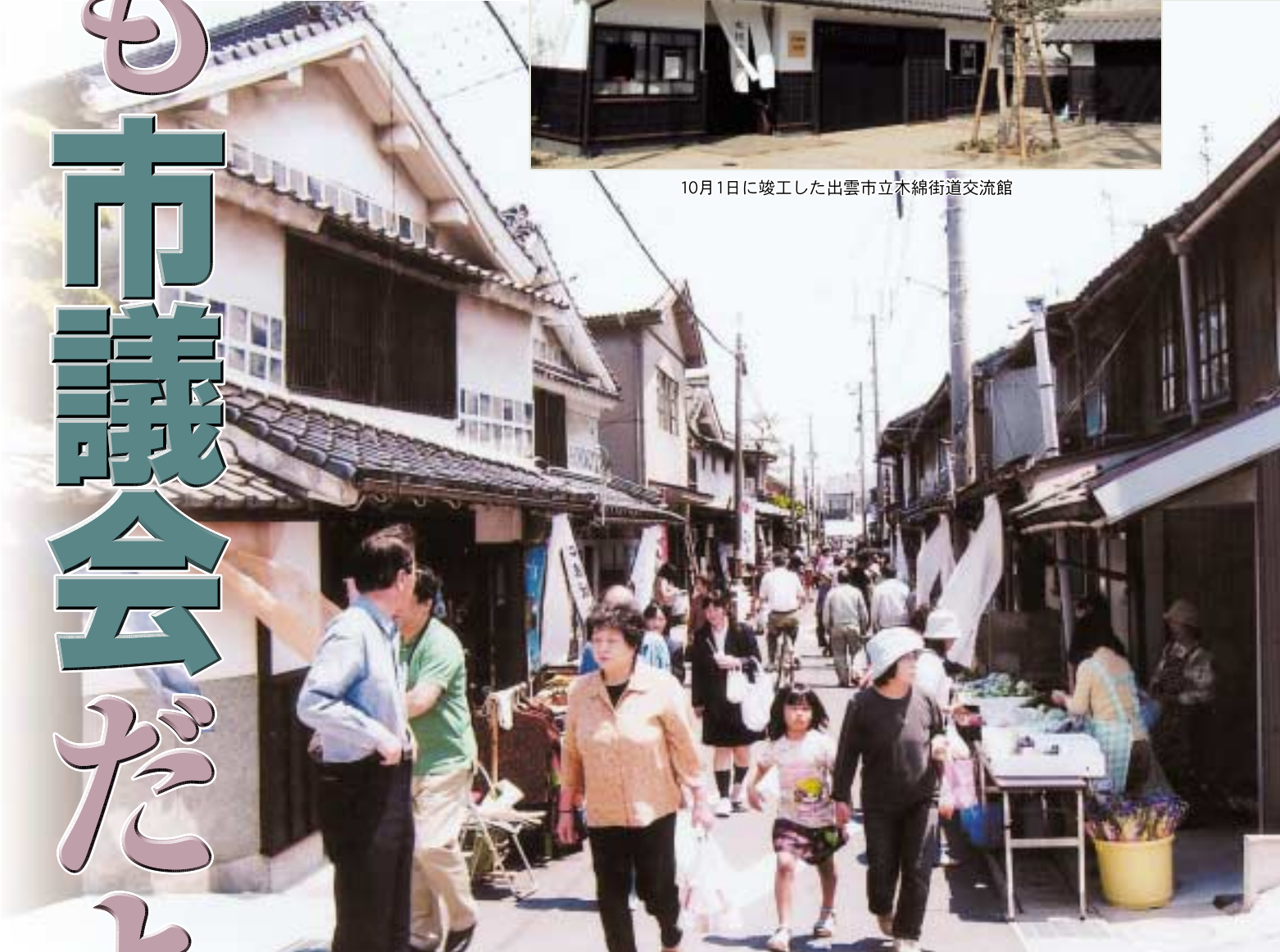


い ず も 市 議 会 だ よ り



10月1日に竣工した出雲市立木綿街道交流館



にぎわう木綿街道 (平田地区)

● 議会の動き	2	● 一般質問	5
● 委員会報告	2	● 視察報告	13
● 請願・陳情・意見書	4	● 議員紹介	15

9月定例会市議会 一般会計第3回補正予算可決

9月定例会市議会では、予算案件4件、条例案件13件、人事案件1件、その他案件10件について審議を行い、継続審査となりました出雲市タラソテラピー（海洋療法）施設の設置及び管理に関する条例を除き、その他の議案は、いずれも原案どおり可決しました。

また、決算案件では、平成16年度の水道及び病院事業会計について審議を行い、いずれも適正と認め、認定しました。

平成17年度(2005) 第4回 出雲市議会(定例会) 会期日程

開会 平成17年(2005)9月8日(木)

閉会 平成17年(2005)9月26日(月)

会期 19日間

9月 8日(木) 本会議(開会、議案上程、説明)
9日(金)～11日(日) 休会
12日(月) 本会議(一般質問)
13日(火) 本会議(一般質問)

9月 14日(水) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
15日(木) 総務委員会
16日(金) 文教厚生委員会
17日(土)～19日(月) 休会

9月 20日(火) 環境経済委員会
21日(水) 建設水道委員会
22日(木)～24日(土) 休会
25日(日) 環境経済委員会

9月 26日(月)
本会議
(委員長報告、討論、採決、閉会)

条例案件では、出雲市タラソテラピー（海洋療法）施設の設置及び管理に関する条例について、

今議会において総務委員会で審査を行った議案は十一件でした。一般会計第三回補正予算のうち主なものとして、旧平田市のテレビピア計画に基づき、小中学生が地域の伝統文化などを題材として、自らが取材・編集し、ケーブルテレビ等を利用して情報発信するキッズスタジオ事業や合併特例債を活用した地域振興の基金造成を行う地域振興基金積立があり、審査の結果、原案のとおり可決しました。



建設中のタラソテラピー

管理運営を行う「指定管理者」を選定する際の条文に不備がないか、また利用料金の設定は適当かなどを指摘したうえ、総工費十八億円もの施設について管理運営の基本を定める本条例は、本委員会としても更に調査研究を重ねたうえで判断する必要があるとし、継続し

本委員会には、予算及び条例議案六件の付託を受けました。一般会計補正予算のうち主なものは、一定の要件を満たす介護サービス利用者の負担の軽減を図る社会福祉法人など利用者負担減免事業、市内の小・中学校を対象に耐震補強などの優先度を調査する校舎・屋体耐震化優先度調査事業などが計上されています。条例議案は、総合医療センターにおいて、十月から重度(心身障害児)者

をめぐり、個性豊かな魅力溢れる観光地づくりを推進していくため、市民の参加と協働による観光振興に力強く取り組む、前進していくために作られた21世紀出雲神話観光大国の建設促進条例について、審査の結果、原案のとおり可決しました。



出雲市立総合医療センター

短期入所事業を開始するにあたり、所要の改定を行う出雲市病院事業の設置などに関する条例の一部を改正する条例などがあります。審査の結果、すべての

◆ 常任委員会報告 ◆ タラソテラピーに関する条例を 継続審査 総務委員会

病院事業会計決算を認定 文教厚生委員会

て審査することに決定しました。
また、交流人口一千万人の「神話観光大国」をめざし、個性豊かな魅力溢れる観光地づくりを推進していくため、市民の参加と協働による観光振興に力強く取り組む、前進していくために作られた21世紀出雲神話観光大国の建設促進条例について、審査の結果、原案のとおり可決しました。

る観光振興に力強く取り組む、前進していくために作られた21世紀出雲神話観光大国の建設促進条例について、審査の結果、原案のとおり可決しました。

議案について、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

病院事業会計決算は、平成十六年度の収益的

収支において二億円の赤字決算となりました。他の医療機関との連携・役割分担を要望し、認定すべきものと決定しました。

鷺巣幼稚園における三歳児保育の実施、佐田中学校の整備及び川

跡幼稚園の移転建設を求める陳情については、その必要性を認め、いずれも採択すべきものと決定しました。

また、継続審査となっていた福祉医療関係の請願二件については、願意は十分理解できるものの、市独自の支援策などから判断し、趣旨採択すべきものと決定しました。

「ゆめタウン出雲」出店計画 賛成陳情を採択 環境経済委員会

議案五件、請願一件、陳情五件及び継続案件としての陳情三件の審査を行いました。

一般会計第三回補正予算には水産業費として、出雲農業振興地域整備計画策定費、たち上る産地育成支援事業、企業参入促進整備事業、いきいき集落営農推進事業などが計上されています。また商店街活性化支援事業、さらには、災害復旧費として、七

月の梅雨前線豪雨による被災箇所への復旧事業が計上されています。このほか、出雲市企業用地造成事業特別会計第一回補正予算などの議案を審査しました。この結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、請願・陳情の審査結果を報告します。

まず、「カネボウ跡地での瀧川産業(株)によ



瀧川産業(株)事業地での現地調査

る被害からの救済に関する請願」についてです。現地調査や、請願者、事業者双方からの事情聴取、市の調査結果などから、騒音や粉じん、搬入搬出車両の通行にかかる問題点について、改善に向けた対策が必要であると判断し、本請願は趣旨採択すべきものと決定し

ました。

次に、株式会社「ゆめタウン出雲」出店計画にかかる陳情についてです。これに関する七件の陳情のうち、出店に賛成するもの二件を採択、反対のもの五件を不採択とすべきものとした。この判断の理由は①出店を止める法的根拠がない。②新出雲市の活力につながる。③個別法の問題は開発協議の中でクリアされる。④地権者全員の同意が出されている。などです。なお、反対陳情に記された問題、懸念については十分な対応を市と業者に求めました。

土木費、災害復旧費予算 原案可決 建設水道委員会

本委員会に付託を受けました案件は、本

年度一般会計第三回補正予算をはじめ、議案

十二件、請願・陳情五件であります。

補正予算のうち歳出の主なものについては、土木費では九号パイパス関連道路整備事業九千九百万円、湖

陵総合運動公園野球場改修事業六千四百万円、宅地開発推進事業費八百八十一万五千円などが計上され、災害復旧費では、現

年発生した災害などに、七千五百十万円が計上されております。歳入につきましては公共土木施設の災害復旧事業に係る国庫支出金や、県道整備事業などに伴う保証金などが計上され、内容審査の結果、原案可決と決定しました。

また、旧出雲市、旧平田市、旧大社町の水道事業会計決算につきましても認定し、合併後の平成十七年三月二十二日から三月三十一日まで

の水道事業会計決算についても全会一致で認定すべきものと決定しました。

請願案件では、『日御崎中山地区の水道設備について』は趣旨採択、『都市計画街路医大前新町線の早期全線事業着手』は採択と決定しました。陳情案件の『市道高松八号線の拡幅改良整備』、『国道九号大島交差点以西の交通安全対策』については採択、『神西小学校通学路整備』については趣旨採択と決定しました。



湖陵総合運動公園野球場の視察

請願・陳情の審議結果

今期議会での請願・陳情と意見書の審議結果は以下のとおりです。

【請願】（継続審査分）

6月定例市議会受理分

請願番号	件名	提出者	審議結果
1	福祉医療に関する請願	出雲地域社会保障推進協議会 代表 中尾 光良 他5名	趣旨採択 (賛成多数)
2	島根県知事に福祉医療に関する意見書の提出を求める請願	出雲地域社会保障推進協議会 代表 中尾 光良 他5名	趣旨採択 (賛成多数)

【陳情】（継続審査分）

陳情番号	件名	提出者	審議結果
1	イズミの開発許可申請に対し、市の不同意を求める陳情	出雲市中心市街地の灯を守る市民協議会 会長 西田郁郎 他11名(他賛同者数2,343名)	不採択 (賛成多数)
2	イズミの出雲市北部出店に対し、市に出店の不同意を求める陳情	出雲市北部の環境をまもる会 代表 徳永 康幸(他賛同者数2,144名)	不採択 (賛成多数)
6	新しい市街地街づくり計画実現への支援ならびに促進についての陳情	出雲市新市街地の街づくりを進める会 会長 佐野 節郎	採択 (賛成多数)

【請願】

9月定例市議会受理分

請願番号	件名	提出者	審議結果
4	カネボウ跡地での瀧川産業(株)による被害からの救済に関する請願	瀧川産業進出反対期成同盟会 代表世話人 安田 公臣(他賛同者数1,946名)	趣旨採択 (賛成全員)
5	日御碕中山地区の水道設備についての請願	中山区長 別所 広蔵 他42名	趣旨採択 (賛成全員)
6	都市計画街路「医大前新町線」の早期全線事業着手に関する請願	塩冶自治協会 会長 宮本 陽吉	採択 (賛成全員)

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
9	鳶巣幼稚園における3歳児保育の早期実施に関する陳情	鳶巣自治協会 会長 佐藤 良之 他2名	採択 (賛成全員)
10	(株)イズミの大型店出店計画について反対を求める陳情	いずも農業協同組合 代表理事組合長 萬代 宣雄 他6名	不採択 (賛成多数)
11	出雲市立佐田中学校校舎全館、屋内運動場及び校地の整備に関する陳情	出雲市立佐田中学校建設期成同盟会 会長 山本 京太郎	採択 (賛成全員)
12	神戸堰改築に伴う市道高松8号線の拡幅改良整備についての陳情	高松自治協会 会長 寺本 昌之 他2名	採択 (賛成全員)
13	川跡幼稚園の移転建設についての陳情	川跡幼稚園移転建設期成同盟会 会長(川跡自治協会会長) 佐藤 義太	採択 (賛成全員)
14	平成18年度出雲市農業政策確立に関する陳情	出雲市農政会議 会長 竹田 重一 他1名	採択 (賛成全員)
15	国道9号大島交差点以西の交通安全対策についての陳情	神西自治協会 会長 石飛 博 他1名	採択 (賛成全員)
16	神西小学校通学路整備についての陳情	神西自治協会 会長 石飛 博 他4名	趣旨採択 (賛成全員)
17	「ゆめタウン出雲」を核とする出雲市新市街地街づくり計画の実現を求める陳情	出雲市新市街地の街づくりを進める会 会長 佐野 節郎(他賛同者数54,443名)	採択 (賛成多数)
18	出雲市北部の住民環境と生活権に重大な影響を与える巨大大型店の出店計画が撤回されるよう強力な対応策の推進を求める陳情	出雲市北部の環境を守る会 代表 徳永 康幸(他賛同者数41名)	不採択 (賛成多数)
19	「(株)イズミ」出店の反対を求める陳情	島根県中部共同店舗まちづくり協議会 会長 坂根 直樹	不採択 (賛成多数)

意見書

【意見書】

番号	意見書の名称	審議結果
5	自治体病院の医師確保対策を求める意見書	原案可決 (賛成全員)

なぜ不採択 陳情番号①②⑩⑱⑲の不採択の理由はP3の環境経済委員会報告をご覧ください。

市政のここが聞きたい

一般質問

9月定例会市議会では21人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

多久和康司 議員 (6ページ)

◎市民生活の安心・安全のために

原 隆 利 議員 (6ページ)

◎アスベスト対策と課題について
●風力発電計画と問題点について

山根 貞 守 議員 (6～7ページ)

◎合併後の各支所のあり方について

山代 裕 始 議員 (7ページ)

●出雲市総合医療センターについて
●介護保険制度の改正について
●遺族会に対する支援について
◎通級指導教室の教育相談指導体制の充実について
●チャレンジデーの取り組みについて
●国際交流について

石川 寿 樹 議員 (7ページ)

◎「たち上がる産地育成支援事業」と「企業の農業参入」について
●第三セクターの運営状況について
●公平性や利便性が実感できる生活・福祉バス路線の早期整備を

曾田 盛 雄 議員 (7～8ページ)

●選挙制度の取り組みについて
◎災害時の通報対策について
●介護保険料の取り組みについて
●雇用と年金問題について

珍部 全 吾 議員 (8ページ)

●斐川町と出雲市との消防事務の委託について
◎介護サービスの今後の展開について

萬代 弘 美 議員 (8ページ)

●介護保険見直しの問題点と自治体に求められる対応について
◎早急な対応が求められる大型店イズミの出店計画について

大国 陽 介 議員 (8～9ページ)

●市民が安心できるアスベスト対策を
◎ごみの収集について

長岡 幸 江 議員 (9ページ)

◎財政運営と予算編成のあり方について
●地域の拠点である公民館のあり方と今後の方向性について

勝部 順 子 議員 (9ページ)

●安心・安全の地域づくりについて
●虫歯対策について
◎公園整備について
●指定管理者制度導入の推進について

板倉 一 郎 議員 (9～10ページ)

●行政評価について
◎住宅用火災警報器について

板倉 明 弘 議員 (10ページ)

◎指定管理者制度による本市の公共施設の管理運営方針について
●「教育立市の出雲市」と評価されるための教育施策について

小汀 英 久 議員 (10ページ)

◎市民憲章について伺う

高野 成 俊 議員 (10ページ)

◎公営墓地の現状と必要性について
●宇比多岐トンネルの抜本改良について

広戸 恭 一 議員 (11ページ)

◎民生委員活動に立ちはだかる誤った壁について
●出雲市の保育行政と保育園整備拡充政策について
●出雲市と斐川町との消防支援(消防・救急)の受委託の期限について

米山 広 志 議員 (11ページ)

●食物アレルギー症児の給食について
◎湖陵病院の移転について
●大型公共施設(ハコ物)について
●(株)出雲総合卸売市場について

松村 豪 人 議員 (11～12ページ)

●障害者基本法に基づく障害者福祉の推進について
◎発達障害者支援について

遠藤 力 一 議員 (12ページ)

◎災害時の避難所について・災害情報のリアルタイム化について
●中国訪問にあたって、黄砂・酸性雨被害の申し入れは

荒木 孝 議員 (12ページ)

◎新生出雲市長の行政運営に対する政治姿勢について

川上 幸 博 議員 (12ページ)

◎国内外友好交流都市について
●ポイ捨て条例について

多久和 康司
◎道路整備と無給水地域の解消を

市民の皆様が日常生活してゆく上で、安心・安全が必要になる。しかし、今でも家の前まで消防車や救急車が入れない道路が多くある。高齢化が進むなかで、早く解決しなければならぬ問題であり、道路を改良整備していくために三カ年、あるいは五カ年計画を立てて進めていただきたいがどうか。

また、自然の恵みの中で地下水などで水を得ていたが、環境の変化から市の水道水が必要になる人や、木戸道が長いために個人負担

が大変だと思つて決断できない人がある。個人負担の緩和のために事業資金の貸付制度を設けてはどうか。

市長 生活に密着した道路の改良整備を今年度から生活環境道路改良事業として行つていきます。年次計画のところでやつていくところは継続的に、その他は、各支所を通じて要望を聞き、整備していく考えです。

新市の道路整備に関する全体計画は、合併後三年を目途に新たな計画を策定します。支所単位に意見を聴取

し、平成十九年度の整備計画策定を目途にしています。

無給水地域の方の声

に耳を傾け、個人負担の軽減を図りながら、上水道を提供して行こうと思つていきます。

原 隆利
◎アスベスト対策の現状と課題

今回のアスベストによる健康被害が明らかになった経過からして、国及び市の責任をどのように考えるか。

また、市の公共施設のアスベスト使用の現状と対策を明らかにされたい。市がアスベストの危険性を認知したのはいつか、その時点での国の指導はどのようなものであったのか。

環境事業部長

平成元年度以前に竣工した建物三百七十三施設の内四十九施設でアスベスト含有の疑いのある吹き付け材の使用が確認され、七施設二十六カ所については立入禁止としました。その他は飛散を抑える暫定工事を実施することとしました。

昭和六十二年に当時の文部省からの通知によりアスベスト使用の調査が行なわれ、この時点で危険性を認識しました。

本市としては今後、公共施設についてアスベストを含有する建材を使用しないことといたしました。

山根 貞守
◎各支所に活力を



市役所湖陵支所

新出雲市が誕生し五カ月余りが経過しましたが、それぞれの各支所における活気が無いように強く感じている。合併にあたって新市建設計画でも、はつきりと各支所の取り組みとして「合併当初は

住民サービスの低下や事務事業の混乱、停滞をきたさないような取り組みを行う」となっているが、次の二点について市長の意見を伺う。七月一日付で人事異動がなされ、支所の職員が更に削減された



無給水地域の解消を

専門的知識と情報を持つ国と、住民と直接接する地方自治体が連携強化を図りながらこの問題に対処していく所存です。

が支所の仕事に支障はないか。生活に密着した事柄や工事などについては、予算を各支所に配分し実施する考えはないか。

市長 二市四町合併協議の中で本庁と支所のあり方について、大変苦労を重ね、支所には理事職の支所長を当て、自信と力、そして、主體的に責任感を持ってやっていただ

体制を整えたところで。七月一日付人事異動による支所職員の減額は、基本的には税務関係の処理が一段落したため、本庁の方に人材を集約したものです。また生活基盤整備については、支所長のさい配のもとでやっていただき、本庁は事務的なお手伝いや、迅速的確に事業が行われますよう支援を行います。

山代 裕始
◎通級指導教室の充実を求める

通級指導教室の充実のため、幼稚園「ことばの教室」への相談員の加配について及び中学校の通級指導教室の設置について伺う。

教育次長 「ことばの教室」は、言葉や聞こえ、情報などにハンディのある就学前の幼児に対し全体的な発達を促すよう今市幼稚園に設置し、週に一回から月二回程度通級で指導を受ける形をとっています。専任の教

員を一名配置していますが、近年、指導を受ける幼児数が毎年増加し、十分な指導の機会を確保できない状況です。

そこで、二学期から教育相談員を一名増やし二名体制としました。また、障害のある幼児に対する教育・保育の今後の方向性について、先般幼児教育審議会に諮問したところであり、この審議を踏まえて今後の体制の充実に向け

て努力します。

次に、小学校では県設置の通級指導教室が四校で開設され、約百名の児童が指導を受けているものの、中学校では通級指導教室そのものが開設されておらず、教員も全く配置されていない状況です。

そこで、本市では、昨年度より市単独で指

石川 寿樹
◎企業の農業参入

①県は、公共事業の大幅な減少に伴い、建設業者など企業に対し、農業分野への参入を盛んに奨めている。過去、市内において企業の農業参入の実例はあるのか。また、現在、そうした動きがあるのか。

市長 ①現在、市内で農業生産活動を行っている企業は六法人です。本年度に入ってから相談が十件あり、このうち本年度中の農業参

導員を教育委員会に配置し、巡回指導を行っています。今後、指導を希望する生徒がますます増える予想されるため、県設置の中学校通級指導教室を出雲市内に開設することを平成十八年度市重点施策として県知事へ強く働きかけています。

入は二件となつていま

②担い手不足が徐々に深刻化するなか、企業に対し農業への参入を誘導することは担い手確保の一つの手段です。

また、企業経営のノウハウを生かした新たな農業展開は、地域に新しい風を呼び起こし、農業の活性化や持続的発展につながる有効な方策になり得ると考えます。

さらに、国の規制緩和や農政改革の動きなどを踏まえると、企業

活力をもって耕作放棄地の有効活用を図り、認定農業者や集落営農などの担い手が企業と

協働し、地域農業を支える新たな体制・仕組みをつくる時期にきていると考えます。

曾田 盛雄

◎災害時の通報対策

九月一日に平田小学校で、大地震を想定した防災訓練が行われたが、アメリカでは超大

型ハリケーン「カトリナ」による大規模災害が現実に発生している。



出雲市防災訓練（平田小学校）

日本も九月は台風の襲来時である。八月には、落雷による停電、同時に電話の長時間不通も起きている。

旧平田市においては有線放送があつたが九月末で廃止され、他に通報手段として頼るのは携帯電話であるが、市内の南方の山陰^{やまかげ}だけでなく、北方の山陰^{やまかげ}、海岸にもまだまだ不感地域がある。不感地域解消の取り組みを企業だけに任すのか、行政側の対策はあるのか伺う。

市長 現代社会では近代的な生活を営む上で下水道の整備、そし

珍部 全吾

◎高齢者向け優良住宅の制度化を問う

現在、「第三期介護保険事業」の策定が進められているが、そうしたなか米子・松江両市において「高齢者向け優良賃貸住宅」が制度化されている。

本市において、この

て生活の便益機器として携帯電話は不可欠です。携帯電話使用不能地域解消の取り組みは、今後調査を進め県との協力の中で整備を鋭意検討していきます。また、来年度から携帯電話の番号を変えずに通信事業者を変更することができるようになるため、利用者側の対応としても携帯電話の利用可能な通信事業者への変更も考慮していただきたい。新市における災害通報システムの確立には防災行政無線は不可欠と考え、今後検討します。

になっているのか。既に制度化されているとすれば、議会においていつ、どのような審議過程を経て制度化されたのか、伺う。

市長 同制度は、平成十三年に制定された「高齢者の居住の安定

確保に関する法律」に基づき、バリアフリー構造を有するなど高齢者に配慮した賃貸住宅の供給を行う事業者に対し、整備や家賃の減額に要する費用について、国・県・市町村が補助を行う制度です。

れを受けて本市においても昨年十二月に要綱を設けるとともに、合併に伴う他市町との調整を行い、新市発足時に家賃減額補助ができるようにしたところであります。

萬代 弘美

◎周辺生活環境破壊・中心市街地の衰退を招く大型店「イズミ」出店計画の撤回を

①美田がつぶされ、広大なアスファルト駐車場、車の排気ガスと騒音、深夜営業などで生活環境が破壊される。

②既存店から年間一〇〇億円もの売り上げが「イズミ」へ流れるとの予測もあり、中心市

街地の衰退は必至である。地域経済と地元商業への悪影響について市長の所見を伺う。市民の安全・安心を保障する総合的見地に立つて大型店イズミの出店計画撤回を求める態度を明確にすべきだ。

市長 ①イズミ出店の問題は、開発の規模から考えますと周辺への影響も大きく、今後、大店立地法等、個別の手続の中で、計画をチェックします。イズミ側も関係住民に説明がされ、今後とも誠意をもつて対応されます。それぞれの立場をよくチェックして、慎重に対応すべき課題だと思

②出雲市駅周辺の中心市街地は、これまでも

大國 陽介

◎地域の实情に応じてごみ収集の改善を

外圍地区をはじめとして本市の海岸部には住宅が密集し、道路が狭い地域が多くある。これらの地域では、

作業となっている。なかには足の悪いお年寄りさんが隣近所にごみを出してもらっているなど助け合いなが

ごみ収集車が住居近くまで進入することができないために集積場が結果的に遠くになってしまいい、週二回以上ある「ごみ出し」が大変な



ごみ収集車が入れない狭い道路（外圍町）

らやっておられる。過疎と高齢化が進む中で事態は深刻。

普通車は無理でも軽トラックなら通行可能な道路もあり、地域に応じた抜本的な対策を求めます。

市長 外園地区だけでなく、新出雲市全体を見ると、特に海岸部で、道が狭く難渋されているところが大変多く見受けられ、私も心

長岡 幸江
◎財政運営と予算編成のあり方

国、地方を通じた巨額な財政赤字のスリム化を狙い、地方交付税が行政改革の標的になっており、今後も増税と三位一体的な歳出削減が続くと予想されている。一方、少子高齢化、人口減少時代の到来等、労働力人口を減らす可能性は大きく、経済成長は低下、行政改革、特に社会保障制度の改革は必至といわれている。限られた財源をいかに効率

を痛めています。

家事援助サービスや助け合いボランティア制度もありますが、軽自動車による搬出を含め、どういう車両を使うかなど、早速調査・検討してみたいと思います。佐田から平田、大社、湖陵など困難な地域がありますので、ニーズをよく把握しながら進めていきます。

的、重点的に運用し、めざす新市構築に臨むお考えなのか、財政改革、予算編成についての基本骨子を伺う。

市長 平成十八年度で三位一体改革の第一期が締めくくられ、地方の財源配分の考え方がどうなるか、今後における市の財政運営に重大な関わりを持つことが前提になります。国の特別の保障がある十年間が勝負です。住民の皆さんに改革の意

義、必要性を訴え、ご理解をいただき、経常的経費は抑え、投資的経費は、全市にわたって重点的に推進し、所得の上がる未来に発展するまちづくりをめざし

勝部 順子
◎愛宕山公園の早急なトイレ整備を

愛宕山公園は、春には桜の花が楽しめ、小動物園もあり、保育園児や幼稚園児の遠足や多くの市民が利用する。

ます。予算編成については、新市合併を受け、将来を展望し、合併時にまとめた重点計画・新市建設計画を基本に予算執行をしていきます。

市民の方から、トイレについて苦情の声を聞き現状確認のためにこの夏、間をおいて三回行って見た。いずれも大変汚れていたし、



愛宕山公園のトイレ整備を

真夏でもあり不衛生な状況だった。特に子ども広場のトイレと、駐車場にあるトイレは水洗浄がされていないため最悪の状況で不快感を覚えた。①公園の管理はどかがされているのか。②水洗浄も含めてトイレ整備についての考えはないか。③遊具の点検と整備はどのようにされているのか。

都市整備部長

①管理は、市の直営で行い、清掃、動物の飼育などの作業を、平田体育公園文化振興財団

に委託しています。今後は、指定管理者の導入も視野に入れて、管理の方法を総合的に検討していきます。②公園内のトイレ三方所が汲み取り式になっています。本年度、この地域において下水道事業の認可が予定されています。供用開始に併せて水洗浄を考えています。それまでは、適切な衛生管理に努めます。③遊具の点検は通常のパトロールと五月の連休前に一斉点検を行い、必要な修繕を行いました。

板倉 一郎
◎高齢者宅・障害者宅の火災警報器設置に助成を

消防法の改正により、住宅用火災警報器などの設置が義務づけとなった。次の四点について伺う。
①市町村条例により、住宅用火災警報器の設置および維持基準が示されることになっている。出雲市の条例はど

のように考えているのか。②高齢者宅・障害者宅に対する助成制度は検討されているのか。③市民への火災警報器の普及啓発活動は、どのように考えているのか。④この制度に便乗した悪質商法に、住民が被害にあ

ことがないように、市の対策はどのようにするのか。

市長 住宅用火災警報器の重要性から、特に高齢者障害者の方々への配慮は非常に重要だと思っています。

消防長 ①新築住宅は、平成十八年六月一日から、既存住宅は平成二十三年六月

一日から一日からの施行を考えています。②助成制度については、高齢者・障害者とも日常生活用



火災警報器等設置義務啓発チラシ

具給付事業の対象品目であり、福祉推進課へ相談していただきたいと思えます。③広報紙およびホームページ、また、消防職員・消防団員等の一般家庭の防災診断・座談会等の機会をとらえ周知する考えです。④チラシなどの配布により広報します。

板倉 明弘
◎指定管理者制度による本市の公共施設の管理運営方針

指定団体の選定方法や指定期間、委託費など管理運営上の基本的な考えと基準を伺う。

市長 平成十八年四月一日から指定管理者制度を導入する

予定です。予定している施設は、全体として百七十施設であり、直営は、七十六施設で、管理委託が九十四施設です。既に指定管理者制度

を導入している所は三十施設あります。指定団体の選定方法や期間は、公募によるもの、特定団体の指定によるものとし、基本的に三年の指定期間とします。委託費や管理運営上の基本的な考えは制度の趣旨である民間企業等のノウハウを生かし、市民サービスの向上や施設の効果的、効率的な運営に資する観点を総合的に勘案して対応します。選定方法は、内部に選定委員会を設けて行います。

小汀 英久

◎市民憲章策定を急げ

今年三月二十二日に二市四町が合併して、新出雲市が誕生しました。十五万市民の共通の指針としての市民憲章の早期の策定が必要だと考えるが、市長の考えを伺う。市民憲章はどのように定めるのか。策定日はいつか、文言は十五万市民に親

道の駅キララ多伎、見晴らしの丘公園などの施設の管理運営をしている指定管理者である株多伎振興への指定期間が二十年間と異常に長すぎる。また、市が出資しているこの会社やタラソ多伎株などに役員として市の特別職が入っていないのはなぜか。

市長 来年四月から三年間を基本として期間を定めていきます。株多伎振興を含め市から役員を参加させ適正な運営に努力していきます。

しみある表現で策定していただきたい。 **市長** 合併協議の中で市民憲章は新市の中で検討するとなつていきます。今はまず市の中身を充実させなければならぬ時です。市民憲章は旧二市四町にだいたい同系列のものが並んでいます。市民憲

章はないよりはあった方がよいものだと思いますが、これがなければやっていけないものではないと考えています。今すぐにあれもこれもではなく、やるべ

高野 成俊
◎公営墓地の現状と今後の取り組みは

平成十五年の旧出雲市議会において、公営墓地の空き区画数が、

墓地を求めておられる方に対し不足している現状を申しあげ、今後の区画の確保について質問、要望をした。市からは検討していくとの答弁があつたが、その後の検討状況を伺う。また新出雲市全体の公営墓地の状況について伺う。

環境事業部長 平成十六年度に、一の谷墓地で七区画増設しました。その後は合併後の公営墓地の状況を考慮し、整備を見合わせています。平成十六年度は貸し出し区画十八区画に対し希望

者は四十二名となつております。合併後の平成十七年度の公営墓地の状況は旧出雲市二カ所、佐田町一カ所、多伎町四カ所、大社町二十二カ所で、総区画は四百五十一区画です。うち貸し出し可能な区画は二十一カ所で、一の谷墓地の十区画と小田霊園十一区画となつており、現在募集中です。公営墓地の必要性は人口集積と核家族化の流れの中で、需要が多いと感じていますので、墓地の質の改善、高度化ということも含めて、問題に対応していきたいと思えます。

◎民生委員活動に立ちはだかる誤った壁

民生委員の職務は出雲市と連携し福祉の増進を図ることから、出雲市は民生委員に対し業務を遂行するために、各種の情報提供をすべきではないか。ついては民生委員法の骨子と、地域での役割を伺う。



三世交流の笹巻きづくり

また民生委員活動を、阻止していると思われる個人情報保護条例と、出雲市当局の民生委員に対する情報提供のあり方の基本的な考えを伺う。

市長 民生委員の地位は、厚生労働大臣から委嘱を受ける特別職の地方公務員とされ、職務は社会奉仕の精神を持って常に住民の立場に立って、相談に応じ、必要な援助を行い、

社会福祉の増進に努めることとされています。また、住民の生活状態の把握、要援助者の相談、助言と援助を行い、福祉サービスの適切な利用の情報提供、社会福祉事業者と連携した支援活動とともに、高齢者、障害者、児童の福祉や教育などの行政の業務に協力いただくことなどが、あげられています。また、守

秘義務も当然課せられています。民生委員活動に必要と想定される個人情報には公益性と権利・利益保護の比較考慮で判断し、民生委員

と行政の連携プレーは、市と協議、相談され市は適切な協力をし、連携協力をすべきと考えられています。

米山 広志

◎「県立湖陵病院」跡地利用計画は

島根県立湖陵病院は、昭和四十四年に県立精神病院として開設されたが、施設の老朽化、狭あい化により担うべき機能が十分果せなくなり、新たに、島根県立心の医療センター(仮称)が、平成十九年度中に出雲市下古志町に移転、供用開始の予定である。

市民福祉部長 ①移転されるのは病棟、リハビリ施設、デイケア施設、若松分校で、職員宿舎、訓練施設は移転しないと聞いています。②病院開設にあたり、

①主な施設すべてが移転の予定か。②湖陵町、地元の大池地区との確認事項。③移転後の跡地について島根県との協議、出雲市の跡地開発、利用計画を伺う。



県立湖陵病院

地元専用水道の使用、管理に関することでの地元と取り交わされた文書はありません。なお、移転後の水道は地元住民が引き続き安心して使用できますように県と協議を継続して

います。③市としては、定住促進、新たな雇用創出の場として地域の活性化につながる跡地利用を県知事あて重点事項として要望しています。

松村 豪人

◎発達障害者支援法に基づく支援を

発達障害は、今まで法制度もなく制度の谷間になっていたが、平成十七年四月一日に、発達障害者支援法が施行され家族の期待が寄せられるところとなった。

支援が必要であるが、市の取り組みは、市民に対しては自閉症や学習障害などの発達障害について、この理解や障害児の育成の支援、相談窓口のPRなど、広報を通じ啓発活動を推進してまいります。

発達障害を持つということが周囲に理解されず困難を抱え、てんかんに至ってはそれを隠して仕事に就くこともあると聞く。まずは、発達障害を正しく理解するための市民啓発が重要となってくると考える。教育現場においては、発達障害に対する理解を進めること、そして十分な教育を受けられるための教育的

教育次長 教育現場においては、発達障害者支援法の施行にもない、小・中学校において教職員チームによる全校的支援を行っています。これにより一人ひとりの実態に合った支援に取り組んでいます。また、児童生徒や保護者への理解

が深まるよう、福祉教育などを実践しているところ。今後も、個人情報や権利擁護に十分配慮した取り組みを進めてまいります。

遠藤 力一

◎災害時の避難所は

アメリカを襲った、ハリケーン「カトリーナ」は史上最悪の自然災害をもたらした。わが国も、七月二十三日に千葉県北西部地震・八月十六日に宮城沖地震と、大きな災害が発生した。

災害で、最も大切な人命を守る拠点となるのが、各地区にある避難所である。次の四点についてたずねる。

- 避難所の種類、災害によって避難する場所の違い。
- 場所・違いの知らせ方。
- 食糧などの備蓄は。
- 発電機・シートなど自主防災に必要な機材は。

市長

ホームページ、防災マップの内容の充実に努力し、外国人対応のものも考えな

人情報や権利擁護に十分配慮した取り組みを進めてまいります。

荒木 孝

◎斐川町との消防業務受委託は

現在、出雲市としては、斐川町民の皆さんが安心して、安全に暮らしてできるように消防業務の委託期間は合併後三年以内となっている。しかし、斐川町長は三年後も継続してほしいといきたいとお考えのようである。

総務部長

一時避難場所、災害の規模が大きい場合などの広域避難場所の指定を行っており、想定される災害の種類によって、開設する避難所を判断しています。

照会確認方法は、梅雨の時期に広報に掲載して周知を図るほか、市のホームページに常時掲載しています。

食料などの備蓄は、公民館・備蓄倉庫に、一万六千食が備蓄してあり、防災機材は、水防倉庫・備蓄倉庫などに配備しています。

西尾市長はこの定例議会において、改めて三年以降の継続はないことを明言された。

市長

出雲市と斐川町との消防業務の受託期間は三年以内と決定済みであり、合併協議で決定された方針は新出雲市に引き継がれており、延長する考えはありません。

八月に斐川町長が来庁されたおりにも、新出雲市長として三年以内の早い時期に受委託について解消することを申しあげ、ご理解をいただきました。いずれ斐川町でも決断される時が来ると思っております。

川上 幸博

◎国内外の都市間交流への取り組みは

国内外の交流都市とは、どのような背景で縁組がされ、今後の交流は、どのように行な

うのか。また、交流は、市民全体で行なうことが大切と考えるが考えを伺う。

市長 市民交流の直接的な効果は、「見聞を深める」「楽しい」「思い豊かな人生を送る」ということもありま

すが、市民交流を行う事により国際平和親善や信頼関係が築いていけると思っています。

政策企画部長

国内には、四つの交流都市があり、岡山県津山市、長崎県諫早市は、旧出雲市が都市機能や規模の類似性から交流を始めました。奈良県桜井市、香川県琴平町は旧大社町に於いて、歴史

的なつながりや歌舞伎を通じて交流が行なわれてい

ます。今後の交流は、双方にとってより有益な交流となり行政、経済、文化、観光



日韓交流 (長浜小学校)

など特色のあるものにしていく考えです。海外では、アメリカのサンタクララ市、中国の漢中市、フランスのエピアン市、フィンランドのカラヨキ市と行っています。

交流は、住民の主体的な活動により発展していくと考えますので、住民の皆さんがいろいろな交流が展開できるように支援します。また、市民交流の拡大が観光振興にも良い影響を及ぼすと期待しています。

視察報告

文教厚生常任委員会

七月五日～七日



登別厚生年金病院の視察

函館市総合保健センターは、市立保健所の機能と、健康増進センターが併設された施設でした。あかちゃんからお年寄りまですべての年代の健康づくりに必要な総合的なサービスが提供されています。特に心身障害者

(児) に対する歯科診療を行う口腔保健センターは全国でも珍しい取り組みです。休日には救急歯科診療も行うなど、市民の側に立ったサービスの充実に感動しました。

新出雲市は、市立の医療センターを持つことになり、病院経営などの参考になるのではと、登別厚生年金病院を視察研修しました。整形外科、リハビリテーションにおいて、北海道の医療界において、先駆的な取り組みがされていました。また、整形外科中心の医療から、地域における基幹病院としての役割も果たされ、平成十六

年度まで七年間黒字経営がされています。今後の課題としては、急性期も併せて考えないと経営は厳しいとの説明を受けました。良好な経営のためには、経営センスもあり、医療がきちつとできる医師の確保が何より重要だと感じました。

登別市の児童厚生施設・富士児童館を視察しました。小学校区ごとに設置されている児童館は、遊びの場の提供と位置づけられ、利用料は無料で小中学生が利用しています。出雲市にも今後必要だと感じました。

(勝部 記)

環境経済常任委員会

七月五日～七日

香川県琴平町では、現在出雲市で検討されている『阿国座』創設の課題や大社門前町再生に向けての先進事例を学びました。金昆羅さんの知名度を生か

した『歌舞伎芝居』はボランティアや関係機関の入場券販売収入による運営形態や、温泉などの宿泊施設の整備などが参考になりました。ただし、出雲での



『ゴマさば』ブランド化視察

『阿国座』創設については、『阿国座』施設建設や集客への取り組み、また管理運営費などまだまだ検討しなければならない課題が多いと感じました。

土佐清水市では近海で獲れる『ゴマさば』を、漁の方法や管理により活魚の新鮮度を他の地域と差別化することによって、ブランド化していく取り組みに

ついて、漁獲から出荷までの工程管理や自然相手であるための需給安定のためのシステムなど視察しました。

高知県南国市では、地産地消の取り組みについてJ A南国市の女性部会が中心となって運営をしている地元直売施設『かざぐるま市』(年商約二億円)を視察しました。生産から販売、また管理運

営全てを女性部の会員の皆さんが行なっています。この『かざぐるま市』はJ A南国市の生産流通体制とは別に運営されており、地域

生産者によって地域産品の消費の拡大や、生産意欲の向上につながっているとのことでした。(高野 記)

建設水道常任委員会

七月四日～六日

建設水道委員会は、次の二つの視察研修を行いました。

『帯広市居住環境ユニバーサルデザインの取り組み』

この取り組みについてハード・ソフト両面から事例の紹介を受けましたが、市民生活における身近な対策が講じられており、市役所各部署において基本的な考え方が浸透していると感じました。出雲市では、目標を共有したバリアフリーの取り組みをすでに行っているため類似の制度・施策などはありますが、生活道路における歩車共存道路としての新基準の策定が必要であると痛感しました。

『釧路川リバーサイド整備について』

釧路川の治水計画に合わせたの都市空間整備の取り組み状況について説明を受けました。

釧路川沿いの土地は宅地、商業地などの利用が既に形成された中で開発であり、整備が積極的に進められていました。したが、どれだけの人に足を運んでももらえないかが課題でもありません。また、市民運動やイベントなどの企画がなされていますが、多くの市民に河川への愛着を深めてもらえるような基本構想のもと、モデル的な活動を展開すべきではないかと思われました。

(古福 記)



釧路川リバーサイド整備の視察

出雲・平田・大社地区 視察報告

七月十四日、市内全域の課題と諸事業について、全議員が共通認識を持つことが重要という観点から、大社・平田地区及び旧出雲市地域の視察を行いました。

まず大社地域は、『21世紀出雲神話観光

日御碕線の二俣トンネルは幅員が狭く、一日も早い工事着手が望まれます。

平田地域では、治水対策として船川・湯谷川工区二期工事の早急な着手が望まれます。また、商業集積地「シエルピア中ノ島」の誕生、古い町並みが残る木綿街道の整備などにより平田地域が大いに発展することを願っています。

旧出雲市にある出雲

大國の創造』に向け、表参道である神門通り活性化、温泉を核とした観光保養交流拠点整備、出雲阿国座創設など主要事業の具体的検討が急ピッチで進められています。一方、日御碕観光の重要な路線である主要地方道大社

御碕観光の重要な路線である主要地方道大社

科学館は、理科学習の拠点として、多くの子どもたちが科学に興味を持つようになったとのこと。将来には有望な科学者がここ出雲から誕生することを楽しみにしています。

新市は合併によりそのエリアが拡大しており、できるだけ早い段階で全地域に出かけて現状認識すべきであると痛感しました。

(長廻 記)



国立公園日御碕の現状説明を受ける

新「出雲市」
議員紹介



本号から三回にわたり議員紹介を掲載します。掲載は議席番号順に行います。また、原稿は本人が作成したものです。

おおくに
大 国 陽 介



みなさんこんにちは、日本共産党の大國陽介です。市民の議席を預かり、毎日が身の引き締まる思いです。

「小泉改革」により介護保険の改定や増税による負担の増加で市民のくらしは大変です。そして、アルバイトや派遣労働など不安定な雇用が若い世代で増えています。

まつむら
松 村 豪 人



このたび、市民の皆様から、新・出雲市政に挑戦する大きなチャンスを頂きました。当選以来、様々な方から励まされ、自らの信ずる道を進む力を頂いています。若輩ではありますが、新出雲市の発展に力を尽します。

えんどう
遠 藤 力 一



「現場に全ての答えがある」先輩からの教えです。常に民衆の中に飛び

込んで、誠実に話を聞き、誠実に行動していただくことを信条としています。

若いとき、サーフィンをしていました。自然の中で、出雲の美しさに浸り、出雲を愛しました。空も雲も海も山も、すべてが美しいところなんです。

その地を守り、そして発展させていくために毀誉褒貶におかされず笑顔で走り続けます。

やまね
山 根 貞 守



私は、この度の新出雲市の市議会議員選挙におきまして湖陵地域から立候補し、皆様方の温かいご支援を賜り当選の榮に浴させてい

ただきました。

私は、合併に際して大変な時間と労力を費やし策定されました「新市建設計画」にも

とづき旧二市四町それぞれ地域特性を生かし、地域バランスを取りながら中心部と周辺部が計画的に同時振興発展致しますよう一生懸命取り組みでまいります。

ばんだい
萬 代 輝 正



新たな広域出雲市がスタートを切り六カ月が経過しました。六月と九月の定例議会を終えて、いよいよ新市の合併後の道筋とも言ふべき議論が始まりました。合併特例債を活

用した資本整備などの事業も旧市や町の思いを乗せて出てきております。私はそんな思いを大切にしながらきちんと見極めて合併に携わった方々にも納得の行く方向付けをしていく必要があると思っております。新市全体の発展と信頼関係が何よりだと願っています。

いたくら
板 倉 一 郎



このたび、出雲市議会議員となりました、板倉一郎でございます。昭和三十九年生まれ、四十一歳若さと情熱で頑張ります。みなさまよろしくお願い申し上げます。

私は、自立できる出雲市をめざし産業の振興と、心豊かな生活に必要な芸術文化の振興を中心に、出雲市の発展に取り組みます。趣味は、スイミング

スクールに通い汗を流すことと、映画鑑賞です。最近、映画「亡国のイージス」を鑑賞しいろいろ考えさせられました。

たたのつよと
多 々 納 剛 人



新出雲市の今後必要とされるテーマは「自立」だと考えています。

①行財政改革の推進②次世代育成③安心・安全の確保④社会資本の整備などの施策は特に急がれる課題です。市民の皆様へのニーズは多様化傾向にあり、地域の主体的な活動の推進に努め、英知を結集することが新出雲市の発展に繋がるものと確信しています。市民の皆様の声を真摯に受け止め、一人でも多くの方が行政に参画していただくことができるよう議会活動に邁進します。



川上 幸博
かわかみ ゆきひろ



旧二市四町それぞれ

の地域特性を生かし、新出雲市がまとまり一体感が醸し出されるまでの期間が、一番大切と考えます。この期間が、少しでも早くなりますように取り組んでまいります。そして、子どもたちがこの地域に住みたくなるまちづくり社会基盤作りをめざします。現在、青少年活動を行なっていますが未来の出雲市を担う子どもたちの手助けができるように努めて参ります。

石川 寿樹
いしかわ としき



現在、珍部議員とともに「新生出雲」を結

成し、特定の政党や既存の組織にとらわれないことなく、あくまでも市民・住民の立場に立つて「言うべきは言う」「正すべきは正す」をモットーにがんばっています。

また、四人の仲間とともに農業生産法人「桃源」を設立し、高齢化が進む中山間地域を拠点に、農業の振興と地域の活性化に取り組んでいます。

【座右の銘】

治を為すは民を勤むるに在り

曾田 盛雄
そた もりお



三十四名の中で一番東に位置する一畑薬師の近くに住居を構える議員であります。合併して大きくなった「出雲市」の将来を考えた時、責務の重大さを認識し汗を流すのが市議会議員の使命であると

私は思います。国、県の経済、財政状況を見た場合、構造改革を加速させ、早い時期に自主、自立をめざす。そのためには社会基盤の整備を図り各地域の特性、自然環境を活かしながらの産業を興し住民本位の安全で安心な出雲市政の発展に取り組みます。

福代 秀洋
ふくしろ ひでひろ



旧出雲市議会を含めると、議員活動7年目を迎えました。過去を振り返り、未来を展望しますと、改めて責任の重さを痛感します。「誤りのない市政」のため力を尽くしていきたいと考えています。年齢は四十前になりました。今まで、体気に使ってきたせいで、運動を心がけるようにしています。趣味は、

コンピュータ、ツーリング、スキー、ゴルフ、ランニングなどです。ご意見・ご要望などお気軽にお寄せください。

高野 成俊
たかの なるとし



合併後の旧市町のこれまで抱えてきた諸課題をはじめ、広域となった住民のニーズは地域や世代、個々の生活環境により多様化しています。また、昨今の厳しい地方財政の下で、市民の皆さまの期待に応えなければなりません。困っている地域や人が正しく評価され、公正な支援が行き届く、市政の実現の為、より多くの皆さまの声を市政に反映させ、暮らしやすい新出雲市の創造に力を傾注してまいります。ご支援、ご声援をよろしく願います。

編集後記

衆議院の解散、総選挙と国政の行方を懸念しながらの九月定例議会を終え、第二回の市議会報を発行します。今議会は、行財政改革をはじめ、合併協定項目に基づく諸課題、市民の福祉向上、まちの活性化等を踏まえ、地方分権時代に対応し、自立できる自治体づくりをめざし、市民のニーズに応え、未来に誇れる新市発展を期しての議会活動の展開となりました。市民の皆様方にこの議会報を通して、少しでも議会の動向が伝わり、ご理解いただけるよう編集員一同懸命に務めております。皆様方に期待される議会報を目標に努力してまいりますので、ご意見をいただきませうようお願いいたします。

〈長岡 記〉

広報委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 福代 秀洋 |
| 副委員長 | 長岡 幸江 |
| 委員 | 大國 陽介 |
| 委員 | 遠藤 力一 |
| 委員 | 多々納 剛人 |
| 委員 | 石川 寿樹 |
| 委員 | 坂根 守 |
| 委員 | 米山 広志 |
| 委員 | 山代 裕始 |
| 委員 | 今岡 一朗 |
| 委員 | 多和田 康司 |
| 委員 | 長廻 利行 |
| 委員 | 荒木 孝 |
| 委員 | 寺田 昌弘 |

議会についての問合せは

〒693-8530 出雲市今市町 109-1

出雲市議会事務局

電話 0853)21-6579 ファックス(0853)24-1720